事例No.	2035
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	静岡県藤枝市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・AI ・ICT

事例種類	医療・福祉・健康

事例内容・タイトル

ロボットを通じた高齢者の見守りや緊急時の情報発信

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

55 ロボットを通じた高齢者の見守りや緊急時の情報発信【静岡県藤枝市】

事業の概要

○　藤枝市では、一人暮らしの高齢者の見守り、生活のサポートを目的として、NECと連携し、顔検知機能、音声認識AI技術、クラウドサービスを融合したコミュニケーションロボットである「みまもりパペロ」による高齢者見守りの仕組みを構築した。





○　ロボットを媒介として、高齢者が家族等といつでも繋がることにより、複数の者（家族、警備会社）による見守りが可能になるとともに、日常のコミュニケーションツールとして利用することで、高齢者の孤独感を和らげることもできる。また、災害時には、市が送信した避難情報等をロボットが表示、読み上げをすることにより高齢者に情報を届けることができるようになった。

【参考情報】　人口：14.4万人
関連URL：
https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kenkofukushi/chiikihokatsu/oshirase/14958.html（市HP）

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

高齢者の一人暮らし世帯が増えています。離れて暮らす家族が高齢者の様子を確認できたり、コミュニケーションが取れるツールを探していました。パペロは安否確認だけでなく、災害情報を伝える機能を搭載する可能性もあったため、導入を決めました。



（藤枝市）



事業の近況を教えてください。



令和2年度の開始当初は22人、令和3年度は27人の方が利用しています。



住民の反応（声）はいかがですか？



「電話をしなくても家族と写真やメッセージのやり取りができる」
「挨拶や体操が日課になって、規則正しい生活になった。」といった声が寄せられています。

★担当：藤枝市健康福祉部 地域包括ケア推進課★

令和3年度事業費　4,426千円